

平成28年九十九里町議会第1回臨時会会議録

目 次

○招集告示	1
第 1 号 (1月25日)	
○議事日程	3
○出席議員	3
○欠席議員	3
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	3
○職務のため出席した者の職氏名	4
○開会及び開議の宣告	5
○議事日程の報告	5
○会議録署名議員の指名	5
○会期決定の件	5
○諸般の報告	5
○行政報告	6
○議案第1号から議案第3号までの上程、説明、質疑、討論、採決	7
・議案第1号 平成27年度九十九里町一般会計補正予算(第8号)	
・議案第2号 平成27年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
・議案第3号 平成27年度九十九里町病院事業特別会計補正予算(第1号)	
○閉会の宣告	23
○署名議員	25

平成 28 年第 1 回九十九里町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成 28 年 1 月 19 日

九十九里町長 大 矢 吉 明

1 期 日 平成 28 年 1 月 25 日

2 場 所 九十九里町議会議場

3 付議事件

- (1) 平成 27 年度九十九里町一般会計補正予算 (第 8 号)
- (2) 平成 27 年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)
- (3) 平成 27 年度九十九里町病院事業特別会計補正予算 (第 1 号)

平成28年九十九里町議会第1回臨時会会議録（第1号）

平成28年1月25日（月曜日）

平成28年第1回九十九里町議会臨時会

議事日程 (第1号)

平成28年1月25日(月)午後3時13分開会

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期決定の件
日程第 3 諸般の報告
日程第 4 行政報告
日程第 5 議案第1号 平成27年度九十九里町一般会計補正予算(第8号)
議案第2号 平成27年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第3号 平成27年度九十九里町病院事業特別会計補正予算(第1号)
-

出席議員 (15名)

- | | | | |
|-----|--------|-----|--------|
| 1番 | 高木輝一君 | 2番 | 鏑田貴俊君 |
| 3番 | 中村義則君 | 4番 | 古川徹君 |
| 5番 | 浅岡厚君 | 6番 | 荒木かすみ君 |
| 7番 | 内山菊敏君 | 8番 | 杉原正一君 |
| 9番 | 善塔道代君 | 10番 | 細田一男君 |
| 11番 | 佐久間一夫君 | 12番 | 谷川優子君 |
| 13番 | 高橋功君 | 15番 | 古川明君 |
| 16番 | 石橋和雄君 | | |

欠席議員 (1名)

- 14番 鈴木征四郎君
-

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職氏名

町長 大矢吉明君 総務課長 鈴木智君

企画財政課長 鵜澤勝典君 住民課長 関谷泰一君
健康福祉課長 戸村俊之君

本会議に職務のため出席した者の職氏名

事務局長 小川浩安君 書記 古川恵美君

◎開会及び開議の宣告

開 会 午後 3時13分

○議 長（高橋 功君） ただいまの出席議員数は15名です。定足数に達しておりますので、これより平成28年第1回九十九里町議会臨時会を開会いたします。

◎議事日程の報告

○議 長（高橋 功君） 本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議 長（高橋 功君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、

4番 古 川 徹 君

11番 佐久間 一 夫 君

を指名いたします。

◎日程第2 会期決定の件

○議 長（高橋 功君） 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日としたいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議 長（高橋 功君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

◎日程第3 諸般の報告

○議 長（高橋 功君） 日程第3、諸般の報告をいたします。

本臨時会の議案として、町長より議案第1号から議案第3号の送付があり、これを受理いたしました。

本臨時会の説明者として、本職から地方自治法第121条の規定により出席を求めた者は、町長、大矢吉明君であります。

また、町長より本臨時会の説明者として委任した旨通知のあった者は次のとおりです。

総務課長、鈴木智君。企画財政課長、鵜澤勝典君。住民課長、関谷泰一君。健康福祉課長、戸村俊之君であります。

◎日程第4 行政報告

○議長（高橋 功君） 日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありましたので、これを許します。

町長、大矢吉明君。

（町長 大矢吉明君 登壇）

○町長（大矢吉明君） 平成28年第1回九十九里町議会臨時会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

平成28年の新春を迎えての初議会であります。改めまして、新年のお祝いと議会のますますの発展並びに議員皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

また、本日は大変お忙しい中、多数の御出席を賜り、本臨時会が開催できますことを厚く御礼申し上げます。

それでは、本臨時会において御審議いただく議案の概要について御説明申し上げます。

議案第1号 平成27年度九十九里町一般会計補正予算についてですが、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ3,765万円を追加し、予算の総額を55億9,595万4,000円とするものでございます。

歳出補正については、衛生費の東金九十九里地域医療センター費で、東千葉メディカルセンター運営費負担金に充当するための病院事業特別会計への繰出金を3,765万円増額し、計上いたしました。

歳入補正については、前年度繰越金3,765万円を増額し計上いたしました。

議案第2号 平成27年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算についてですが、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ4,000万円を追加し、予算の総額を29億1,295万8,000円とするものでございます。

歳出補正については、保険給付費の一般被保険者高額療養費で、70歳未満被保険者の自己負担限度額改定に伴い、一般被保険者高額療養費を4,000万円を増額し計上いたしました。

歳入補正については、国民健康保険会計基金繰入金を4,000万円増額し計上いたしました。

議案第3号 平成27年度九十九里町病院事業特別会計補正予算についてですが、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億2,101万2,000円を追加し、予算の総額を8億1,601万2,000円

とするものでございます。

歳出補正については、事業費の事業費で地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター事業負担金を3,765万円、基金積立金の東千葉メディカルセンター整備事業基金積立金を8,350万円増額し計上いたしました。

また、公債費の利子で平成26年度病院事業債借入金の利率が確定したため、長期債利子を13万円減額し計上いたしました。

歳入補正については、東千葉メディカルセンター整備事業交付金を8,350万円、一般会計繰入金金を3,765万円増額し計上いたしました。

なお、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター事業貸付金元利収入につきましては、13万円減額し計上いたしました。

以上、議案の概要について申し上げましたが、詳細については担当者から説明いたさせますので、上程の際は慎重に御審議いただき、原案に御賛同くださいますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。よろしく申し上げます。

◎日程第5 議案第1号 平成27年度九十九里町一般会計補正予算（第8号）

議案第2号 平成27年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算
（第2号）

議案第3号 平成27年度九十九里町病院事業特別会計補正予算（第1号）

○議長（高橋 功君） 日程第5、議案第1号 平成27年度九十九里町一般会計補正予算（第8号）、議案第2号 平成27年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）、議案第3号 平成27年度九十九里町病院事業特別会計補正予算（第1号）を一括議題といたします。

議案第1号から議案第3号までについて、提案理由の説明を求めます。

順次説明を求めます。

企画財政課長、鶴澤勝典君。

（提案理由説明）

○議長（高橋 功君） 住民課長、関谷泰一君。

（提案理由説明）

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

(提案理由説明)

○議 長（高橋 功君） これより質疑を行います。

質疑は分割して行います。

初めに、一般会計補正予算について質疑を行います。次に、特別会計補正予算について質疑を行います。ただし、質疑の内容が各議案に関連する場合はこれを許します。

これより一般会計補正予算について質疑を行います。

質疑ありませんか。

12番、谷川優子君。

○12番（谷川優子君） 12番、谷川です。

この議案は、第1号議案と第3号議案がまたがっているので、同時に聞きたいと思います。

今回のこの補正ですけれども、5億円の不足の中で、3,765万が九十九里の負担分だと。

そして県は3億2,100万、この県交付金、つまり建設基金に積み立てておく分のお金を3億2,100万を前倒しでこの不足分に使うということだと思えるんですけれども、今後この10年間、県から来るお金を、前倒しで使っちゃって、本当に足りなくなったらどうするのかということと、それから、先ほど全協の中で、東千葉メディカルセンターの27年度の資金繰りの見込みについて説明いただきましたけれども、前回も5億円が足りない。昨年6月に3億円、11月に2億円、5億円を運営のために一時借入をして、今回もまた4億3,800万という資金不足が見込まれているという中で、赤字をずっと続けていって大丈夫なのか。返済の見通しはどのようになっているのか。

それから、建設改良費として、説明の中で、資金繰り見込みの中で、164床から205床にベッドを開棟すると。それに対して3億円のお金が建設資金として出ていますけれども、これはまた最終的に314床にするために、またベッドを増やすと。そこでまた164床から205床に増やして41床で3億円だと。今度、314床にするには約110床増やすわけですよ。この計算でいくと、6億、7億、8億の計算になっちゃうと思うんですけれども、これはベッドだけのお金なのか。私たちは当初建設資金として、当初140億とか全部、機器も入れて当初の計画であったと思うんですけれども、それが今度、ベッドを増やすたびにこれだけのお金が今後かかるようになるのか、それをちょっと教えてください。

○議 長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） それでは、お答えをさせていただきます。

1点目の県交付金の計画でございますが、この件につきましては、基金から貸し付けがき

きまして、5年間据え置き、10年償還という計画で平成26年度より貸し付けをしているところでございます。シミュレーションとすると、償還金を返済し、運営費に充てておりますが、支障なく運営ができるものと認識しているところでございます。

2点目の3億円の基金についてでございますが、これは中期計画に定めております26年3億、27年3億、28年4億ということで、第2期中期計画で10億円の基金を設けまして、ベッドあるいは医療機器購入に充てるための基金として、運営に充てているものでございます。それにつきましては、計画どおり、競争入札等によりまして、適切な価格によりましてそういったものを購入し、適正な運営に当たっていると伺っているところでございます。

以上でございます。

○議長（高橋 功君） 12番、谷川優子君。

○12番（谷川優子君） 12番、谷川です。

いや、そうじゃなくて、私が聞いたかったのは、前倒し、前倒しで、本来積み立てておかなきゃいけないお金を、基金に1回積み立てたのをまたメディカルセンターに貸すというようなやり方をずっとして、いつになったらそれが前倒しで貸さなくていいようになるのか。そこをきちんと計画を出さない限りは、大変なことになると思うんです。

それと、今ベッドや医療機器の問題が出ましたけれども、これずっと3億、4億なんていうのは、一体どこで稼ぎ出すんでしょうか。黒字にならないとしようがない。

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

今回、平成27年度、約4億3,000万の資金の不足が生じる見込みとなったところでございます。それにつきまして、5億円の資金を支援し、平成27年度の運営に充てるということで今回補正を組ませていただき、皆様方をお願いしているところでございます。

今、第2期中期計画2年目でございますが、今後、全員協議会で御説明をさせていただいた経営コンサルタント、千葉大にお願いをしながら、今後の計画につきまして、いろいろな助言、提案をいただき、検証するべきところを検証し、改善計画を策定した後、新たに中期目標を定め、そして中期計画を策定し、健全経営に向け本病院が円滑に運営できるよう支援していく考えでございます。

以上でございます。

○議長（高橋 功君） 12番、谷川優子君。

○12番（谷川優子君） 地方行政法人、独法のほうから説明があった……

○議長（高橋 功君） 暫時休憩します。

（午後 3時40分）

○議長（高橋 功君） これより再開いたします。

休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 3時53分）

○議長（高橋 功君） 12番、谷川優子君。

○12番（谷川優子君） 谷川優子です。引き続き質問させていただきます。

平成27年3月31日に、貸借対照表というのを独法のほうから説明をいただきました。この段階で利益剰余金合計が約マイナス15億4,000万というふうな数字になっています。九十九里町の病院事業会計の予算も8億1,600万と、だんだん膨れて、総事業のお金が膨れています。こういった中で、本来使ってはなけない、そういう積み立てておかなければいけない建設基金を前倒しで使うということに、大変私は不安を感じます。

それで、先ほど県の強力な支援をとというのは、多分県から交付される85億6,000万の交付金以外に支援を求めたいというふうに、私はそのように聞いたんですけれども、それはそういうことでしょうか。

建設資金のお金を支援金だというような言い方をしていると、県が運営にも支援してくれているというような捉え方をされても困るので、そこをきちんと回答いただきたいと思います。

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

今後、経営コンサルタントの検証を踏まえながら、第2期中期計画の変更を実施し、その指示によりまして計画を見直すという方向性は、今後見出していかねばいけないと考えているところでございます。

その中で、そういったコンサルタントの指摘、改善、そういったものが具体的に示すことができ、県等にそういった説明をできることを用意しながら、別途支援金を県に対して、東金市、そして九十九里町と協調しながらお願いをしていくことを今後考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（高橋 功君） ほかに質疑ありませんか。

16番、石橋和雄君。

○16番（石橋和雄君） 16番、石橋。

建設計画のときに、県から85億6,000万という支援を受けながら、この計画が進みました。当初、先ほども私も言いましたが、定かではありませんが、たしか124億円であったかなというような気がしております。そして、今どのくらいになっているのかなということを聞きたいところがございます。

どうしてかといいますと、平成27年度の経営の中で医業収益から給与費、材料費を差し引きますとマイナスになってしまうんですよ。この表を見ますと。また、説明の中で。給与と材料だけでマイナスになるような営業じゃ、どうしようもならないんじゃないのかなと。そのような感じできょう、説明を受けておりました。

そこで、85億6,000万の支援というのは124億円のときに出た話でありますし、今はどのくらいになっているか、それを聞きたいと思います。課長、よろしくをお願いします。

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

開院前の事業費として、137億8,600万円の総事業費でございます。その中には東金市が100%支出をしております土地購入費ということで9億600万円が含まれているところでございます。

今、千葉県からの公債費に充てるお話でございますが、建設時期に充てた公債費を除く71億8,300万円が平成26年から10年間にわたりまして、設立団体のほうに負担割合で交付されているところでございます。

今後ともこういった公債費は、本来であれば運営費に充てることはできませんが、今回はこういった状況でございますので、県に承認をいただき、運営費に充てる運びとなっているところでございます。

先ほども答弁させていただきましたが、今後、経営コンサルタントの検証、そして今後、あり方について適切な診断を受けながら、その診断を踏まえて、今後運営に当たって、いい方向に病院が運営できるよう取り組んでいく所存でございます。

その中で、別途県には、先ほど谷川議員の御質問にもお答えしましたが、その検証を踏まえて、別途補助金を県に、東金市とともにお願いをしていく予定でございます。

以上でございます。

○議 長（高橋 功君） 16番、石橋和雄君。

○16番（石橋和雄君） 16番、石橋。

今137億と言いましたっけ。私の聞くところでは、もう160億に近いという話を聞いたんですが、それは全然関係なかったのかな。あるいは、何かほかの経費が入っているのかなと私思うんですが、そのところ課長、説明できますか。私の聞き間違いでしょうか。それをちょっと聞きたいです。

○議 長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

今の総事業費は、開院前の事業費ということで、建物あるいは医療機器に充てた総事業費でございます。

以上でございます。

○議 長（高橋 功君） 16番、石橋和雄君。

○16番（石橋和雄君） 16番、石橋。

わかりました。開院前の事業費ということですね。

ではそれから、26年、そして27年と、もうたっておりますし、どこまで本当か私もわかりませんが、もう160億に近いよというようなお話も聞きましたので、これはまた調べてみたいと思います。124億のときに85億6,000万であったし、それが今137億、あるいはもっといく中で、やはり県からもそれ以上の支援はしてもらわなければ、割合としておかしいじゃないですか。そういう意味でも町長には頑張ってもらわなければいけないのかなと、そのような気がいたします。

ともかく営業収益から給料、材料費を差し引いてマイナスになるようじゃ、どうしようもありません。それこそコンサルタントを活用し、頑張ってもらわなければいけないかなと思います。

町長、最後に、先ほど町長、全員協議会の中で御挨拶いただきました。もし差し支えなかったらば、あの中の一部の内容、お話しいただければ幸いです。だめであれば結構です。

以上です。

○議 長（高橋 功君） 町長、大矢吉明君。

○町 長（大矢吉明君） ただいまの石橋議員の質問にお答えさせていただきます。

皆様の意見を聞いて、最後に私がお話ししようと思って皆様の意見を聞いておりました。

先ほどお話ししたとおりです。ただいま、私、また東金市長、ここにおける戸村課長、あと東金市の副市長、このメンバーで現在、担当部局を超えて副知事のところまで行っています。当然、九十九里町の財政力、そういうものも説明してあります。

そういう中で、副知事は、あの病院を閉めるわけにはいかないと。わかりましたと。だけど、県としても議会を通らないと、これは確実な返事はできないんです。ですから、今なかなか皆さんに安心できるお答えはできなくて、大変申しわけなく思っております。

それと、病院の先生方、看護師は千葉大と今、密接なつながりを持って検討しております。ですから、私もここで大丈夫ですという約束はできませんが、いい方向に向かっていることは確かです。ですから、何とか皆様に協力をしていただけたらなと。

前の議会でも申し上げましたとおり、この問題は皆さんで解決しなければ解決できません。行政がやったわけじゃないし、議会がやったわけじゃない。町民がやったわけじゃない。これは九十九里町全体の問題ですから、その辺をもう一度よく考えていただいて、答弁もちょっときつい答弁になるかもわかりませんが、その辺で皆さん協力をお願いしたいと、私はこのように思っております。

以上で、石橋議員の答弁とさせていただきます。

○議長（高橋 功君） 石橋議員、3回超えてます。

1番、高木輝一君。

○1番（高木輝一君） 1番、高木です。3点ほど質問させていただきます。

まず、病院事業会計は当初年度の6億9,500万、これについては県の交付金が半分、あとは町の一般会計並びに町の借入れ、それと基金の繰り出し、それが大体3億5,000万なんです。大体、半分半分という状況なんです。

これを今後、町の負担を多くするわけにはいかないんです。先ほどから、県のほうにいろいろ交渉を持つということであるわけなんですけれども、まず第1点が設備の増額分、これについての支援、それと資金不足による運転資金の部分支援、この二通りをぜひ交渉を持つてお願いをしたいということです。

2点目。それと平成28年の予算は、今年度は6億9,500万ですけれども、その金額で済むのかどうか。その辺もお伺いしたいということです。

3点目。本日の全員協議会において、いろいろな質問事項、疑問事項、多々あったわけです。今後、検査も可能とする特別委員会の設置の検討もぜひ早急をお願いをしたいということです。

3点です。以上です。

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

1点目の設備投資、あるいは運営資金の援助につきましての御質問でございますが、こういったことを包括的に、総合的に経営コンサルタントの検証を踏まえながら、今後具体的に経営の支援策ということで、お願いをしていきたいと考えているところでございます。

平成28年度の運営につきましては、今後また、これはコンサルタントのお話に戻りますけれども、今後の設備、あるいはスタッフ、そういったものの検証を踏まえながら、具体的に平成28年度、健全経営に向け、その検証を踏まえて、具体的に中期目標計画に定めながら、適切な運営に働きかけていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（高橋 功君） 1番、高木輝一君。

○1番（高木輝一君） 1番、高木です。

今、1番、2番の質問に対してお答えいただいたんですけども、要はもっと具体的に数字であらわさないと、町の財政が厳しい中でやっているわけですから、12月11日の時点でも私、4億6,600万、資金不足、どうするんだということで質問させていただきましたけれども、これが結果として、いろいろ鋭意努力しますという回答で今日に至っているわけです。その辺はもっともっと具体的に、これだけ足らなくなる、もう当初からわかっていることなんですから、それを早目にやはり対応するにはどうしたらいいかなと、本当に真剣になって考えていただきたいと思います。その2点は。

3点目の質問は、またお答えいただきたいと思います。

○議長（高橋 功君） 3点目は、行政に言うことじゃなくて、議会の中で特別委員会はつくることですから。

健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

議員おっしゃるとおり、具体的な数字で私が御説明申し上げるのが筋だと思っておりますが、今後、旧国保成東病院に支出しておりました東金と九十九里の10年間にわたる26億5,000万、こういったことを基本的に、この病院が適切に運営ができるよう、経営コンサルタントの指摘、そういったものを受けながら、具体的に健全経営に向け努力してまいる所存でございます。

以上でございます。

○議長（高橋 功君） ほかに質疑ありませんか。いいですか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（高橋 功君） 質疑なしと認めます。

これで一般会計補正予算の質疑を終わります。

続いて、特別会計補正予算について質疑を行います。

質疑ありませんか。

8番、杉原正一君。

○8番（杉原正一君） 8番、杉原正一。

3点ほど質問いたします。

まず初めに、国民健康保険のほうですけれども、今回4,000万の補正が組まれているわけですけれども、現在この国民健康保険の加入者の病院の利用状況をまず、26年とか直近とかちょっと教えてください。

○議長（高橋 功君） 住民課長、関谷泰一君。

○住民課長（関谷泰一君） 九十九里町の国保に加入している方の近隣の病院の利用状況でよろしいでしょうか。

個人病院は出せませんので、まず大網白里市立国保大網病院、27年度の9月の診療分でございますが43件、総合病院国保旭中央病院90件、さんむ医療センター174件、東千葉メディカルセンターで92件でございます。

以上でございます。

○議長（高橋 功君） ちょっと杉原さん、待ってください。杉原さん、ほかにも質問ありますか。ほかにもあるなら全部言ってください。一問一答じゃないですから。質問事項があれば。

○8番（杉原正一君） 国保のほうはこれに関連だけ。あとは病院事業のほうだから。

○議長（高橋 功君） だからもう全部1回で……

○8番（杉原正一君） わかりました。

○議長（高橋 功君） 8番、杉原正一君。

○8番（杉原正一君） 杉原正一。

それでは、病院事業のほうを質問します。

今回補正を1億2,101万2,000円組んで、総額8億1,601万2,000円という形になるわけです

けれども、これは一般会計約55億から見れば、15%ほどの支出になっちゃうわけです。先ほど、まだパーセンテージがきちんと出ていないけれども、直近、じゃ、こっちを先に言います。8億、15%ほどを病院のほうに拠出するということになれば、ほかの住民サービスが滞ってくるわけです。

先ほど町長も全員協議会の中で、一般会計に非常に影響を及ぼすと。非常に、来年度というか、28年度の予算編成に関して、頭を痛めているということでございますけれども、まず千葉県がこの運営に関する費用に関して助成をしてくれるなら、この病院はある程度長もちしていきたくらうけれども、県の協力は今、県から看護師が15人ほど来ている。その他、今回、先ほどの説明でもありましたけれども、産科がないから慈恵医大のほうへ折衝して、3人の産科の医師が来ると。

ところが、今年度中にフルオープンする立場であったにもかかわらず、たしか皮膚科、泌尿器科、眼科等は医師が来ないと。そうすることになると、フルオープンというのがもうできない。フルオープンできれば黒字化するんだと言っているけれども、これはなかなか難しい。

課長が今、コンサルタントが来れば、いかにも内容がよくなるようなことをおっしゃっているけれども、どのような立場のコンサルタントかわからないけれども、コンサルタントを頼むというのは、こちらからこういう問題をどう対応したらいいんだと。1番から言えば、入院患者が少ない、一般の通院してくれる人が少ない。でも、こういうことを言っても、コンサルタントが適切な意見を述べられるかどうかというのはわからない。

先ほど住民課長が言ったように、さんむ医療センターなどから比べても、かなりまだこのメディカルセンターの通院している人は少ないわけです。だから現状、町民がこの病院に対する認識がないというか、信頼性がないというか、こういうことをやっぱり早く改善していかなければいけないのであって、課長はさっきパーセンテージ答えてくれなかったけれども、けさ聞いた段階では、昨年9月では外来が2.61%ですね、課長。入院が十一点数%、要するに89%、約9割の人は入院患者であってもほかの病院に、九十九里町民の国保の人たちは入っちゃっているわけだから。この辺を十分、1回私は住民、町民にアンケートをきちんととってやったほうがいいんじゃないかと思うんです。

それと、最後のもう一つは、もし県が支援をしてくれない、近隣の市や町が加入団体に増えないということをやはりある程度考えていかないといけない。いざ2年、3年たって、たしか平成31年からこの建設資金の返済も始まるわけです、30年間にわたって。そのころにな

って、県はこれは地方独立行政法人なんだから自前で調達してくださいと言われちゃったら困っちゃうわけです。だから、今どういう方向、どういう角度で、やはりいろんなことを想定して考えていかないといけないと思うんです。その辺について、まず質問します。

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

今、今回の平成28年度の資金見通しについて、4億3,000万ほどの不足が生じたという現実がございます。今後、平成28年に向け、どういった形でこの法人、東千葉メディカルセンターを適切に運営していくべきかというところで、県等に御相談に伺ったところ、県の働きかけによりまして、千葉大のコンサルタントプロジェクトチームを紹介された経緯でございます。

今後は、東金、九十九里はもちろん、法人、そして県、千葉大が一体となって、このメディカルセンター、この地域に必要な病院として位置づけられたこの病院を円滑に地域医療に生かすために、こういった連携を強化し、適切な方向性を持って病院が円滑に運営できるよう努めていく所存でございます。よろしく願いいたします。

○議長（高橋 功君） 暫時休憩します。

(午後 4時19分)

○議長（高橋 功君） これより再開いたします。

休憩前に引き続き会議を開きます。

(午後 4時20分)

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

県の公債費に充てる交付金以外の別途の補助金がない場合というような御質問でございますが、今、町長答弁にもありましたとおり、県に対して東金市長、九十九里町長が積極的にこの支援策について、その具体的なものを県にお願いに当たっているところでございます。そういった一つの一端が、先ほど答弁させていただきました千葉大における経営コンサルタントのお話も、これも県の一つの働きかけ、助成によって、支援によってこういったものが具現化されたものと認識しております。

今はそういった支援策がないということ想定するのではなく、そういった具体的に県に

対して、こういったコンサルタントの検証を踏まえた上で、具体的に県に対して別途、支援策を積極的に支援をお願いしていくと。そのことだけを今、東金と九十九里、法人、1つになって、今それに向かって努めているところがございますので、御理解と御協力のほどお願いをしたいと思います。

以上です。

○議長（高橋 功君） 8番、杉原正一君。

○8番（杉原正一君） 8番、杉原。

まず、住民課長、26年度に病院の利用状況及びパーセンテージ、入院状況、それと直近の、最近のメディカルはどのように改善されているかということ、その資料はあると思いますので、それを答えてください。

続きまして、2番目の病院のほうなんですけれども、今年度は8億を超える資金を投入しなければいけない状況になっちゃったわけです。こういう状況になれば当然、来年度の予算のほかに削っていかなくちゃいけないということにもなるわけです。ちょっと視点を変えて、次はどういったものを一般会計から削っていかうかと。これは財政課長にも関係してくると思いますので。

3番目の質問なんですけれども、確かに私もいろいろな話があると、県は地方独立行政法人、それで東金九十九里地域医療センターという名前で発足してスタートしたんだから、責任はこの東金と九十九里にあるというふうに恐らく最後は出てくると思うんです。

なおかつ、これは町長も御存じだと思いますけれども、先般マスコミにも出ましたけれども、成田に病院ができると。1つは大学の病院だと。特区みたいな国の予算がついて。そうすると千葉大だって、今度こっちのほうにも要員を回さないといけない。だから、さっき理事長が言っていた皮膚科、泌尿器科、眼科、たしかもう一つ何か言ったと思うんですけれども、こういう医師は見送りになっちゃったと。こういう状況なんです。

だから、やはり町長は10月から任期がスタートして、当然これは何とか、病院と海の駅と何とかしなくちゃいけないという、この熱意は私も非常に熱く感じるんです。ところが、9月定例議会において前町長が述べたことは、この病院は県が主導でやったんだと。だから県に支援を受けるんだと。こういうようなことははっきりと言っていたわけなんですけれども、その辺について再度、これは2回目ですので、ちょっと突っ込んだ質問をします。

○議長（高橋 功君） 住民課長、関谷泰一君。

○住民課長（関谷泰一君） 杉原議員の御質問にお答えいたします。

平成26年度の医療機関の利用状況ということですが、近隣の医療機関でよろしいでしょうか。

(「個人も何%あるか言ってください。名前はいいですから」と言う者あり)

○住民課長(関谷泰一君) 平成26年度の大網白里市立国保大網病院、先ほど538件で全体の1.21%、千葉県立東金病院24件で0.05%、東千葉メディカルセンター571件、1.28%、総合病院国保旭中央病院960件で2.16%、さんむ医療センター2,397件、5.39%、今言ったのは外来でございます。

入院のほうでございますが、大網病院48件、4.11%、東金病院はゼロでございます。東千葉メディカルセンター105件、8.99%、旭中央病院100件で8.56%、さんむ医療センター115件、9.85%、これが入院でございます。

そして、直近の平成27年度の状況でございますが、先ほど9月分の件数を説明いたしましたが、大網病院43件で1.22%、外来でございます。東千葉メディカルセンター92件で2.61%、旭中央病院が90件で2.56%、さんむ医療センター174件で4.94%。入院のほうは、大網病院が4件で3.6%、東千葉メディカルセンター13件で11.71%、旭中央病院が6件で5.41%、さんむ医療センター10件で9.01%でございます。

以上でございます。

○議長(高橋 功君) 町長、大矢吉明君。

○町長(大矢吉明君) ただいまの杉原議員の質問にお答えします。

人生というのは、後ろに振り返ってもとに戻るのであれば、これは幾らでも振り返ってもらいたいです。しかしながら、今、過去に振り返って、もとは戻りません。ですから、前を向いていただいて、前向きの姿勢でいていただきたいんですよ。過去のことを掘り出すのも、これも一つの皆さんが心配する種なんです。これはよくわかります。ですが、そういうことで、もうちょっと前向きの姿勢で、前を向いていただいて前進していただきたい。これが私の願いです。

それと、高木議員の特別委員会というお話ありましたけれども、これはぜひやってほしいです。できれば議会で特別委員会を設けてほしいと、そのようにお願いしたいと思います。杉原議員、それでよろしいでしょうか。

○議長(高橋 功君) 杉原議員に申し上げます。杉原議員、一般質問とは違いますので。
(発言する者あり)

○議長（高橋 功君） これでもう終わりですよ。これで最後です。

8番、杉原正一君。

○8番（杉原正一君） 8番、杉原。

まず、住民課長がお答えしてくださっているように、今現在、東千葉メディカルセンターへ行っている人は、旭中央病院よりも若干少ないぐらいなわけなんです。だから、どうしてこういう状況になっちゃっているのかということです。九十九里町が脱退したさんむ医療センターのほうが、外来は倍以上、26年度で見れば4倍ぐらいがさんむ医療センター、脱退したところへ行っているという状況なんです。この辺をまずよく踏まえていただきたいと思います。

それと町長は、私が後ろ向きだと言っただけけれども、私は後ろ向きじゃなくて、もう百二十何億、土地まで入れれば、さっき課長が答えたように、百三十数億かけてつくっちゃったわけです。これはなくなるわけです。だから、これをどう有効利用を病院としてするか。さっきいい案が出てきたじゃないですか。慈恵医大から産婦人科が3人出てきてくれると。だったら、慈恵医大に全てを任せちゃったらどうですか。

あとはこういうことも考えられますよ。亀田病院は、結構外から患者が来ているわけです。マスコミによると日本一いい病院だと。鴨川にあるよりも、特急で東京駅から来れば半分以下の時間で大網まで来るし、大網からバスがちょこちょこ出れば、より近くなるわけですから、私は東金と九十九里だけで維持していくのは、なかなかもう難しいと。これがある程度はっきり出てきたわけです。だから、とりあえずは3年間ぐらいは何か様子見ないといけないから、とりあえずもう1年ぐらい様子を見て、改善されなかったら、この病院をどう建物を生かして、九十九里住民が安心して、今みたくね、1.28%、8.99%、入院が。1割もっていないわけですよ、メディカルセンターへ。なぜ九十九里住民が行かないのかということもよく考えて、住民が、九十九里町民が安心して行けるような病院になるように、町長は努めてください。

以上、終わります。

○議長（高橋 功君） ほかに質疑ありませんか。

5番、浅岡厚君。

○5番（浅岡 厚君） 5番、浅岡です。

病院の資金の関係なんですけれども、運営資金が今回足りないということで、設立団体と県が補助をするということなんですけれども、ほかに選択肢がなかったのか。例えば民間か

ら出資を依頼するとか、銀行から借りるとか、そういう方法がなかったのかお聞かせいただきたいと思います。

○議 長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

中期計画の中で定められております短期借入金の上限額は5億円でございます。その5億円については、一時借入金としてもう実施しておりますので、それ以上の借り入れは主要金融機関からは見込めないということで、今回の支援策に至った経緯でございます。

以上でございます。

○議 長（高橋 功君） 5番、浅岡厚君。

○5番（浅岡 厚君） 5番、浅岡です。

先ほど全協の説明ですと、その短期借入金は来月、長期借入に借り入れかえるというような説明がありましたから、それは短期借入の枠の中には当てはまらないと思うんですけども、例えば県からの補助金を一部前倒しということがあったんですけども、これもっとお願いして、全額前倒しでしていただければ、一般会計のほうの負担が少なくなると思うんですけども、そういう選択ができなかったかどうか、ちょっとお願いいたします。

○議 長（高橋 功君） 町長、大矢吉明君。

○町 長（大矢吉明君） 浅岡議員の質問にお答えします。

先ほど私がお話ししたとおり、県は全部前倒しというのは1回にはできません。というのは、県も議会を通さないと前倒しはできないんです。今回は、何とか前倒しを約束の中で、うちも東金市も困っているんで、何とかしなければならなかったんで、今回は前倒しがよくなったんです。ですから、全額というのは今のところ無理です。これから先はちょっとわかりません。これから交渉次第です。

以上です。

○議 長（高橋 功君） 5番、浅岡厚君。

○5番（浅岡 厚君） 5番、浅岡です。

ありがとうございます。できれば、一般会計からの負担が少なくなるような方法を選んでいただいて、これから健全経営をお願いいたします。

以上です。

○議 長（高橋 功君） 6番、荒木かすみ君。

○6番（荒木かすみ君） 6番、荒木です。

今まで聞いていまして、病院の内容も違いますので、パーセントだけで比べることはできないというふうに私も思います。MRIがあるとか、へりがとまるとか、急性期医療があるとか、とてもメリットのある病院でありますし、それに最近の評判では、人工関節についてとても評判がいいということで、病院でも力を入れていると思います。

それで、やはり先ほど言われていましたように、遠方より来ていただけるような、そういうような宣伝であるとか、そういう予算を御配慮いただけたらと思いますが、この点についてお願いいたします。

○議長（高橋 功君） 健康福祉課長、戸村俊之君。

○健康福祉課長（戸村俊之君） お答えをさせていただきます。

地域にとって魅力ある病院にするために、設立団体としても法人のほうへ、そういった内容の声をどんどん積極的に投げかけていきたいと考えているところでございます。

以上です。

○議長（高橋 功君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（高橋 功君） 質疑なしと認めます。

これで特別会計補正予算の質疑を終わります。

これより一般会計補正予算、特別会計補正予算の討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

○議長（高橋 功君） 討論なしと認めます。

これより採決いたします。

採決は議案ごとに行います。

議案第1号の採決をいたします。

議案第1号 平成27年度九十九里町一般会計補正予算（第8号）を原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立多数）

○議長（高橋 功君） 起立多数であります。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議案第2号の採決をいたします。

議案第2号 平成27年度九十九里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）を原案のと

おり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

○議長(高橋 功君) 起立全員であります。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

議案第3号の採決をいたします。

議案第3号 平成27年度九十九里町病院事業特別会計補正予算(第1号)を原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立多数)

○議長(高橋 功君) 起立多数であります。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長(高橋 功君) 以上で、今期臨時会に付議された案件は議了いたしました。

お諮りいたします。

会議規則第7条の規定により、これをもって今期臨時会を閉会したいと思います。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり)

○議長(高橋 功君) 異議なしと認めます。

これをもって平成28年第1回九十九里町議会臨時会を閉会といたします。

御苦労さまでした。

閉会 午後 4時39分

この会議録は、会議の顛末を録したものでその真正なるを証するためここに署名する。

九十九里町議会議長 高 橋 功

署 名 人 古 川 徹

署 名 人 佐 久 間 一 夫